

を申請中です。これも TCER が今後発展していく上で、欠かすことのできない作業であったと考えております。

Working Paper やホームページの充実はじめ、現在、抱えている課題も多々ございますが、皆様の更なるご協力を得て、前進していく所存でおりますので、よろしく願いいたします。

(2) 2005 年度理事会、総会報告

2005 年度理事会は 4 月 8 日 (金) 4:30 より慶応義塾大学三田キャンパス第 1 校舎 108 番教室にて行われました。2004 年度事業報告、2004 年度決算が承認されました。

2005 年度事業計画案は以下のように承認されました。

1. TCER 研究会

引き続き、国内外の発表者を招いて慶應義塾大学にて開催する。

2. TCER コンファレンス

(1) アジアの通貨危機

(2) TCER-CIRJE マクロコンファレンス

(3) NBER-CEPR-TCER(TORIO) マクロコンファレンス

(4) TCER プロジェクト (旧逗子コンファレンス)

(5) NBER-TCER 東アジア経済セミナー

(6) TCER ミクロコンファレンス

(7) OECD-NERO コンファレンスへの参加

3. ホームページの充実

4. 同友会セミナー

2005 年度予算案が承認されました。

評議員の増員、理事の交代、監事の交代について： 寄付行為の大幅改定に合わせ、評議員会の組織を改変します。具体的には、学者サイド 6 名、経済同友会サイド 6 名の計 12 名からなる新しい評議員会を旧寄付行為の下で組織し、それを新寄付行為へと引き継ぐ形をとります。以下の新評議員が提案され、承認されました。なお、任期は 2 年 (重任可) とします。

大山道広氏 (東洋大学教授)

奥野正寛氏 (東京大学教授)

金本良嗣氏 (東京大学教授)

北城恪太郎氏 (社団法人経済同友会代表幹事)

河野栄子氏 (株式会社リクルート取締役会長兼取締役会議長)

鈴木興太郎氏 (一橋大学教授)

濱口敏行氏 (ヒゲタ醤油株式会社取締役社長)

南直哉氏 (東京電力株式会社顧問)

山崎昭氏 (一橋大学教授)

吉野直行氏 (慶應義塾大学教授)

渡辺正太郎氏 (社団法人経済同友会副代表幹事・専務理事)

なお、現評議員の成田豊氏（株式会社電通最高顧問電通グループ会長）は2006年3月までそのまま留任、森清堯氏（電力中央研究所理事・社会経済研究所長）は任期満了で退任とします。

新評議員選出に伴い、奥野氏、鈴木氏にお願いしていた監事の交代が必要となります。残任期間（1年）につき、大橋勇雄氏（一橋大学）、瀬古美喜氏（慶應義塾大学）を推し、承認されました。

また、西村清彦氏（元東京大学、現日本銀行）と玉田康成氏（慶應義塾大学）から理事を辞任したい旨申し出がありましたので、残任期間（1年）につき、岡崎哲二氏（東京大学）およびグレーヴァ香子氏（慶應義塾大学）を推し、承認されました。

寄付行為の改正について：現行の寄付行為は、設立以来変更せずに現在に至ってきましたが、今般経済産業省の「財団法人寄付行為の基本モデル」に準拠し、所要の改正を行うことになりました。現在、経済産業省へ許可申請中です。変更内容の詳細は、許可がおり次第、次号のニュースレターで報告いたします。

(3) 2005年度理事紹介

2005年度の理事は以下のように決まりました。各理事のメールアドレスはTCERのサイトに掲載されております。（敬称略）

代表理事

樋口 美雄 （慶應義塾大学商学部）

副代表理事・渉外担当

伊藤 隆敏 （東京大学大学院経済学研究科、同大公共政策大学院）

代表理事代理、総務（ホームページ担当）

木村 福成 （慶應義塾大学経済学部）

国際活動担当

岡崎哲二 （東京大学大学院経済学研究科）

企画担当

小川 英治 （一橋大学大学院商学研究科）

企画担当

浦田 秀次郎（早稲田大学大学院アジア太平洋研究科）

総務担当

吉原 直毅 （一橋大学経済研究所）

会計・研究会担当

土居 丈朗 （慶應義塾大学経済学部）

総務（報告書担当）

塩路 悦朗 （横浜国立大学国際社会科学研究科）

総務（ニュースレター、名簿担当）

グレーヴァ香子 （慶應義塾大学経済学部）

(4) ホームページ活用について

TCER独自のホームページ (<http://www.tcer.or.jp/>) を立ち上げました。今後このホームページを使って、会員サービスを充実させる予定です。当面は、最低限のアクセス制限とします。個別のIDやPasswordは発行せず、会員共通のIDとPasswordにします。TCER会員用ページのIDとパスワードは電子メール版の当ニュースレターにてご確認下さい。

TCER会員のメリット

(a) 会員には、TCERが関連するコンファレンスへの論文の公募をお知らせして、応募の資格があります。

(b) TCERワーキング・ペーパーを発行する予定です。ワーキング・ペーパーは皆さんが大学のWPに出しているものを、ダブルに出していただいで結構です。TCERWPの著者は、会員限定です。ただし、ワーキング・ペーパーは、アクセス制限をつけず、自由にアクセス・ダウンロードしてもらうことで、研究成果の広報に寄与します。将来は、SSRN登録など、英語論文は、世界的なネットワークに乗せるようにいたします。内容が充実すれば、いずれ、NBERやCERPとの相互リンクも提案します。

(c) そのほか、HPの活用法について、皆さんの提案を募りたいと思います。

2. TCER 研究会

2005年度のTCER研究会は慶應義塾大学にて行われます。4-7月のスケジュールを掲載します。

日時：2005年4月8日（金） 午後 2:45～4:15

報告者：木村 福成氏（慶應義塾大学経済学部）

題名：“WTO政策規律の経済学的含意”

場所：慶應義塾大学第1校舎 108教室

日時：2005年4月15日（金） 午後 4:30～6:00

報告者：小原 美紀氏（大阪大学大学院国際公共政策研究科）

題名：“Husband's Unemployment and the Wife's Labor Supply”

場所：慶應義塾大学第1校舎 108教室

日時：2005年4月22日（金） 午後 4:30～6:00

報告者：住田 和人氏（金沢清陵大学経済学部）

題名：“Time Series Relationships among Secondhand Condominium Price Indices in Greater Tokyo Area: Cointegration and Granger Causality Tests”

場所：慶應義塾大学第1校舎 108教室

日時：2005年5月6日（金） 午後 2:45～4:15

報告者：グレーヴァ 香子氏（慶應義塾大学経済学部）

題名：“Voluntarily Repeated Prisoner’s Dilemma”

場所：慶應義塾大学第1校舎 108 教室

日時：2005年5月6日（金） 午後 4:30～6:00

報告者：尾崎 裕之 氏（慶應義塾大学経済学部）

題名：“Multiple-Beliefs Rational-Expectations Equilibria in OLG Models with Ambiguity”

場所：慶應義塾大学第1校舎 108 教室

日時：2005年5月13日（金） 午後 4:30～6:00

報告者：玉田 桂子 氏（福岡大学経済学部）

題名：“Regional Allocation of Public Capital and Pork-Barrel Politics”

場所：慶應義塾大学第1校舎 108 教室

日時：2005年6月3日（金） 午後 4:30～6:00

報告者：Jean-Pascal Bassino 氏（Paul Valery 大学経済学部）

題名：“Regional and Personal Inequality in Welfare in Pre-WWII Japan, 1892-1941”

場所：慶應義塾大学第1校舎 108 教室

日時：2005年6月10日（金） 午後 4:30～6:00

報告者：大槻 恒裕 氏（大阪大学大学院国際公共政策研究科）

題名：“Standards and Technical Regulations: Do They Matter to export Success in Developing Countries?”

場所：慶應義塾大学第1校舎 108 教室

日時：2005年6月17日（金） 午後 4:30～6:00

報告者：清田 耕造 氏（横浜国立大学大学院国際社会科学研究科）

題名：“Reconsidering the Backward Vertical Linkage of Foreign Affiliates: Evidence from Japanese Multinationals”

場所：慶應義塾大学第1校舎 108 教室

日時：2005年6月24日（金） 午後 4:30～6:00

報告者：中山 幹夫氏（慶應義塾大学経済学部）

題名：“Credible Deviations and Retaliations in a Class of Strategic Games”

場所：慶應義塾大学第1校舎 108 教室

日時：2005年7月15日（金） 午後 4:30～6:00

報告者：菊池 徹 氏（神戸大学大学院経済学研究科）

題名：“On Chamberlinian-Ricardian Trade Patterns”

場所：慶應義塾大学第1校舎 108 教室

3. コンファレンス

(1) **論文募集** (今後は TCER ホームページでのご案内となります。)

CALL FOR PAPERS: 2005 年度 TRIO Conference

今年も NBER および CEPR, と TCER が共催で **TRIO Conference** を開催します。Organizer は、東京大学の伊藤隆敏、福田慎一、カリフォルニア大学の星岳雄、Andrew Rose です。今年のコンファレンスは 2005 年 12 月 7 日 (金) -8 日 (土) に東京大学本郷キャンパスで行います。

コンファレンスの要領

1. コンファレンスのテーマは、「国際金融の制度設計」。
2. 発表される論文の総数は、8 本程度。発表はすべて英語で行う。
3. コンファレンスには、「国際金融の制度設計」に関連した実証分析の論文を優先的に採用する。ただし、政策的インプリケーションがある場合には、理論の論文も採用する。また、他の条件が同じならば、若手の論文を優先する。
4. TCER からの公募数 1、2 本。

経費負担

論文の著者で、関東圏外 (50 km 圏外) からの参加者には、交通費と滞在費を主催者が負担します。

応募要領

コンファレンスで論文を発表したい方は、論文そのものか、あるいは 10 ページ程度の草稿を、伊藤隆敏と福田慎一の両方にそれぞれ一部ずつ、PDF ファイルあるいは MS WORD ファイルを電子メールに添付してお送りください (できるだけ論文全体を一つのファイルに収録し、ファイル名は "macro.pdf" のようなものでなく、"ito.pdf" のように、著者の名前がファイル名に入るようにしてください)。それが困難な場合はハードコピーを郵送してください。

論文郵送 (電子メール) 先

伊藤隆敏:

113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1 東京大学経済学部 tito@e.u-tokyo.ac.jp

福田慎一:

113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1 東京大学経済学部 sfukuda@e.u-tokyo.ac.jp

締め切り: 2005 年 8 月 30 日 (月)。

論文が **accept** された場合に限り、著者には 9 月末までに電子メールでお知らせします。論文を電子メールでなく郵便で送る方は、電子メールのアドレスを必ず書いて下さい。皆さんからの積極的なご応募をお待ちしております。

(2) ミクロコンファレンスご案内

第11回ディセントラライゼーション・コンファレンス

The Eleventh Decentralization Conference

ホームページ :

<http://www.kier.kyoto-u.ac.jp/coe21/symposium/2005/DCconference2005CallforPapers.html>

共催 : 京都大学 21 世紀COE 「先端経済分析のインターフェイス拠点の形成」

日時 : 2005 年 9月 16日 (金曜日)。秋季日本経済学会の前日にあたります。

場所 : 法政大学市ヶ谷キャンパス

本コンファレンスでは、ミクロ経済学の理論的アプローチに関する論文を主たる対象に、各方面からの投稿論文を募集しています。一般均衡、ゲーム、社会的選択、メカニズム・デザイン、経済動学等の経済理論の論文はもちろんのこと、国際経済、公共経済、労働経済、金融、産業組織、企業組織等の応用分野で理論モデルに基づく論文の投稿も歓迎します。

招待講演 : 梶井厚志氏 (京都大学経済研究所)、小西秀男氏 (Boston College)

投稿締め切り : 8月1日 (締め切り済み。)

コンファレンスに関し、ご質問などがありましたら、事務局(廣川みどり : mhiro@mt.tama.hosei.ac.jp)までご連絡ください。

プログラムコミッティ : 中山 幹夫 (慶應義塾大学)、西村 直子 (信州大学)、
グレーヴァ香子 (慶應義塾大学)、原 千秋 (京都大学経済研究所)、
関口格 (京都大学経済研究所)、鈴木 豊 (法政大学)、廣川 みどり (法政大学)

(3) 東アジア経済セミナー報告

TCER は、NBER が主催する東アジア経済セミナー (East Asian Seminar on Economics) の共催者として、過去 16 年間のコンファレンスをサポートしてきました。(過去の開催実績については <http://www.e.u-tokyo.ac.jp/~tito/EASE.htm> 参照。) 毎年、一回 (だいたい 6 月)、日米ほかアジア地域の経済研究機関と共同で、国際コンファレンスをおこない、その成果をシカゴ大学出版局から出版しております。TCER 以外では、韓国の KDI、台湾の中華経済研究院が、当初からのメンバーです。このほか、近年になってから、オーストラリアの Productivity Commission、シンガポールの Singapore Management University、北京の中国経済研究センター、香港の香港科学技術大学、

が共催者のリストに加わりました。今年は、このシリーズとしては初めて、マニラで会議を開催いたしました。テーマは、「財政政策と管理」で、TCER からは、伊藤隆敏、岩本康志、三井清、土居丈朗、国枝繁樹が参加しました。(プログラムは、以下を参照。) アジア地域の財政事情、債務の維持可能性、年金問題など、共通の問題などについて有意義な討論をおこなうことができました。この論文の原稿、改訂稿については、TCER の Home Page より、NBER へリンクを張って、随時改訂版を公開していきます。出版は、1 年半後をめどにおこなわれます。来年は、ハワイにて、国際金融をテーマにおこなう予定です。

**NATIONAL BUREAU OF ECONOMIC RESEARCH, INC.
PHILIPPINE INSTITUTE FOR DEVELOPMENT STUDIES
CHINESE CENTER FOR ECONOMIC RESEARCH
CHUNG-HUA INSTITUTION FOR ECONOMIC RESEARCH
HONG KONG UNIVERSITY OF SCIENCE AND TECHNOLOGY
KOREA DEVELOPMENT INSTITUTE
PRODUCTIVITY COMMISSION, AUSTRALIA
SINGAPORE MANAGEMENT UNIVERSITY
TOKYO CENTER FOR ECONOMIC RESEARCH**

16th Annual East Asian Seminar on Economics
Fiscal Policy and Management

Takatoshi Ito and Andrew Rose, Organizers

June 23-25, 2005

Westin Philippine Plaza Hotel
CCP Complex, Pasay City
Metro Manila, Philippines

PROGRAM

WEDNESDAY, JUNE 22:

6:30 pm Welcome Dinner - Westin Philippine Plaza Hotel

THURSDAY, JUNE 23:

8:45 am Registration
9:15 am Welcome / Keynote Speech
HON. ROMULO L. NERI

- 9:30 am Secretary, Socioeconomic Planning and Chair, PIDS Board of Trustees
Chair, Andrew Rose
ROGER GORDON, UC, San Diego and NBER
WEI LI, University of Virginia
Financial, Taxation, and Regulatory Structure in Developing Countries
Discussants: Francis Lui
Michael Alba
- ROBERTO MARIANO and DELANO VILLANUEVA, Singapore Management University
Sustainable External Debt Levels: Estimates for Selected Asian Countries
Discussants: Francis Lui
Rosario Manasan
- SEOK-KYUN HUR, Korea Development Institute
Measuring the Effectiveness of Fiscal Policy in Korea
Discussants: Wei Li
Yum-Keung Kwan
- 12:30 pm Lunch
- 2:00 pm Chair, Anne Krueger
RAJ CHETTY, UC, Berkeley and NBER
ADAM LOONEY, Federal Reserve Board
Social Insurance in Developing Economies
Discussants: Roger Gordon
Mario Lamberte
- CHIH-CHIN HO, National Taiwan University
Estate and Gift Taxation in Taiwan:
An Analysis of the Current System and Some Proposals for Reform
Discussants: Takatoshi Ito
Felipe Medalla
- 4:00 pm Adjourn
- 6:00 pm Welcome Cocktail Reception Hosted by Bangko Sentral ng Pilipinas

FRIDAY, JUNE 24:

- 9:00 am Chair, Josef Yap

WILSON AU-YEUNG, JASON MCDONALD and AMANDA SAYEGH, Australian
Treasury

Australian Government Balance Sheet Management

Discussants: Young-Sun Koh

Corrinne Ho

YUM-KEUNG KWAN, City University of Hong Kong

The Direct Substitution between Government and Private Consumption in East Asia

Discussants: Kiyoshi Mitsui

Mario Lamberte

YASUSHI IWAMOTO, University of Tokyo

Policy Options for Financing the Future Health and Long-Term Care Costs in Japan

Discussants: Epictetus Patalinghug

Raj Chetty

12:00 pm	Lunch
2:00 pm	Excursion
6:00 pm	Dinner

SATURDAY, JUNE 25:

9:00 am Chair, Takatoshi Ito
GILBERTO LLANTO, Philippine Institute for Development Studies
Dealing with Contingent Liabilities: The Philippines

Discussants: Jason McDonald

Shigeki Kunieda

YOUNG-SUN KOH, Korea Development Institute
Reforming the Fiscal Management System in Korea

Discussants: Gilberto Llanto

Chong Hyun Nam

YOUNG JUN CHUN, University of Incheon
*Population Aging, Fiscal Policies, and National Saving:
Prediction for Korean Economy*

Discussants: Laurence Kotlikoff

Shigeki Kunieda

12:00 pm	Lunch
----------	-------

- 1:30 pm Chair, Andrew Rose
 TAKERO DOI, Keio University
 TOSHIHIRO IHORI, University of Tokyo
 KIYOSHI MITSUI, Gakushuin University
 Sustainability, Debt Management, and Public Debt Policy in Japan
 Discussants: Eli Remolona,
 Dante Canlas
- HANS FEHR, University of Wuerzburg
 SABINE JOKISCH, University of Wuerzburg
 LAURENCE KOTLIKOFF, Boston University and NBER
 Simulation the Joint Demographic / Fiscal / Economic Transition of China, Japan, the
 U.S., and the EU
 Discussants: Yasushi Iwamoto
 Cielito Habito
- 4:30 pm Adjourn
- 6:00 pm Dinner - Westin Philippine Plaza Hotel

編集後記

2005 年度 1 号目のニュースレターをお送りいたします。盛りだくさんな内容になってしまいましたが、今後はコンファレンス関係の情報は TCER ホームページに移される予定です。会員の皆様の積極的なホームページ利用を理事一同期待しております。本年度も研究員の皆様のご活躍をお祈りいたしております。

Newsletter に関するご意見やご感想は、代表理事 樋口 美雄 higuchi@fbc.keio.ac.jp
または総務理事 グレーヴァ香子 takakofg@econ.keio.ac.jp までご連絡下さい。